

氏名	あさ ひ かつ ひこ 朝 日 克 彦	職名	准教授	就任年月	2023年（令和5年）9月
【学歴】	<p>1995年3月 広島大学文学部史学科地理学専攻 卒業 1997年3月 東京都立大学大学院理学研究科地理学専攻 修士課程修了 2004年4月 北海道大学大学院地球環境科学研究科地圏環境科学専攻 博士後期課程修了</p>				
【取得学位】	<p>博士（地球環境科学）</p>				
【職歴】	<p>2008年 立命館大学文学部 助手 2009年 北海道大学大学院環境科学院 特定専門職員 2010年 慶応義塾大学大学院政策・メディア研究科 特任講師 2012年 信州大学山岳科学研究所 助教 2016年 ネパール、トリブヴァン大学理工学部トリチャンドラ校 特任教授</p>				
【専門分野】	<p>地理学 環境動態論 山岳科学</p>				
【研究課題】	<p>山岳科学の体系化 山岳地の比較動態地誌 高山帯の環境動態</p>				
【担当科目】	<p>人文地理学 自然地理学 地誌 日本地域形成論 地域と文化 実践防災学</p>				
【学会・社会活動】	<p>日本地理学会 ジオパーク対応委員 東京地学協会 専門家紹介委員 北海道地理学会 幹事、編集委員 日本雪氷学会 地理科学学会 ネパール地質学会 ネパール水文・気象学会 国際雪氷学会 国際水文科学会 ユネスコ、世界ジオパーク認定現地審査員 全米科学財団（NSF）科学研究費審査委員会委員</p>				

【主な研究業績】

区 分 (単・共別)	著 書 ・ 論 文 名 等	発行所・掲載誌・発表学会等	発行・発表 年 月
著 書 (共)	フィールドワークにおけるマスメディアとの 邂逅、マスメディアとの齟齬	『FENICS 100万人のフィールド ドワーカーシリーズ第6巻： マスメディアとフィールド ドワーカー』古今書院	2017年8月
著 書 (共)	山岳氷河ほか14項目	『地形の辞典』朝倉書店	2017年2月
論 文 (共)	ヒマラヤのテクトニクス	『地質学雑誌』123巻	2017年7月
論 文 (単)	2014年9月27日御嶽山噴火当日の救助	『登山研修』32巻	2017年4月
論 文 (単)	学術交流協定にもとづく途上国大学院教育の 支援—ネパール、トリブヴァン大学における 地形学教育—	『地理学論集』92巻	2017年1月
論 文 (共)	Glacier area shrinkage in eastern Nepal Himalaya since 1992 using high-resolution inventories from aerial photographs and ALOS satellite images	『Journal of Glaciology』	2016年4月
論 文 (単)	空中写真判読による中部山岳の超年性雪渓の 分布と動態	『国土地理協会学術研究助成報 告集』2巻	2016年9月
論 文 (単)	噴火時の避難行動—突発事象への対応を考え る	『地理』84巻2号	2015年1月
論 文 (単)	間近で見た御嶽山噴火	『科学』84巻	2014年11月
論 文 (共)	Temporal Changes in Elevation of the Debris- Covered Ablation Ares of Khumbu Glacier in the Nepal Himalaya since 1978	『Arctic, Antarctic, and Alpine Research』43巻	2011年5月
論 文 (単)	Equilibrium-line altitudes of the present and Last Glacial Maximum in the eastern Nepal Himalayas and their implications for SW monsoon climate	『Quaternary International』212 巻	2010年1月
学会発表 (単)	High aptitude for UNESCO Global Geopark implementation in Nepal	2nd International Sustainable Mountain Development and Tourism Conference	2023年10月
学会発表 (単)	本邦最南端、高千穂峰のアースハンモック	霧島ジオパーク学術研究会	2025年3月